

トマト（夏秋被覆栽培）の病害虫の発生状況（6月中下旬）

1 灰色かび病

巡回調査では、発生は確認されませんでした（図1）。多湿条件になると発生が多くなりますので、換気を十分に行ってください。

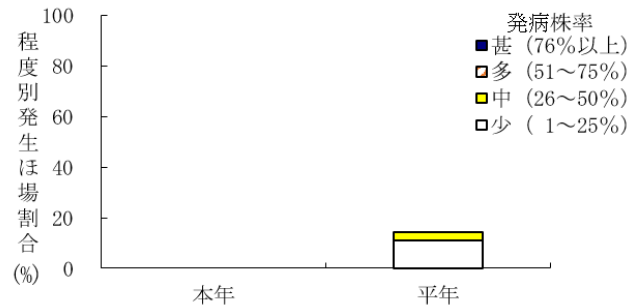


図1 灰色かび病の発生状況

2 葉かび病

巡回調査では、発生は確認されませんでした（図2）。多湿条件により発生しやすくなるので、換気を十分に行ってください。抵抗性品種を作付しているほ場でも発病がみられた場合には、葉かび病かすすかび病かを確認し、適切な薬剤を選択して防除してください。

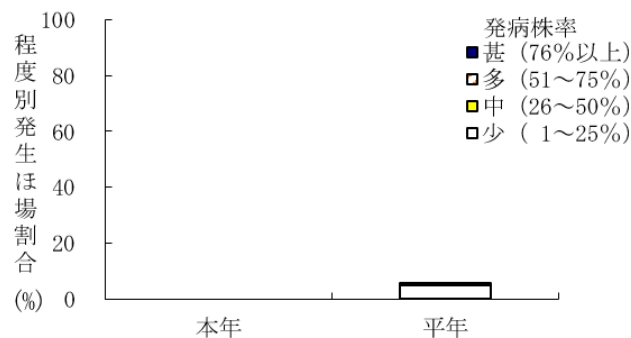


図2 葉かび病の発生状況

3 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図3）。ほ場をよく観察し、発生が多くなる前に、速やかに防除を実施してください。また、アブラムシ類は、CMVなどのウイルス病を媒介するので注意が必要です。

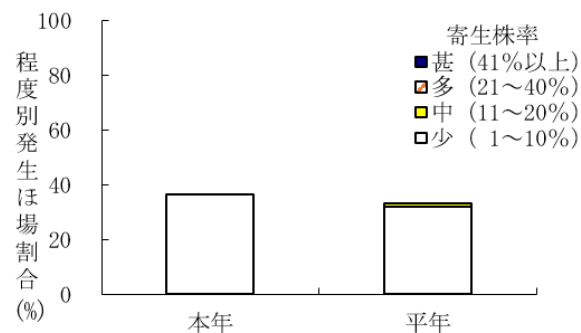


図3 アブラムシ類の発生状況

4 コナジラミ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図4）。寄生種がタバココナジラミの場合は、着色異常果の発生やトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介するので、注意してください。まん延すると防除が困難なので、低密度時から防除を実施してください。

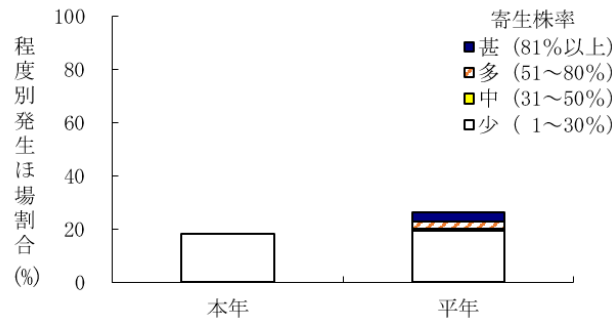


図4 コナジラミ類の発生状況

5 ハモグリバエ類

巡回調査での発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。まん延すると防除が困難なので、発生が見られる場合には、低密度時から防除を実施してください。

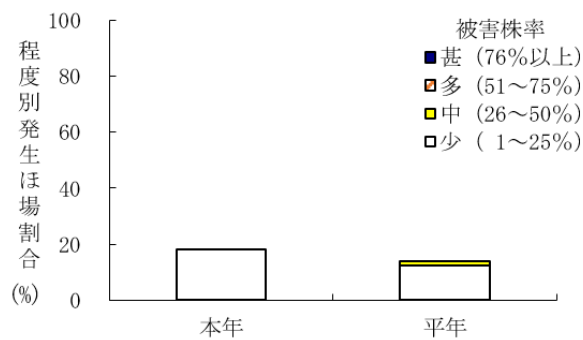


図5 ハモグリバエ類の発生状況

6 オオタバコガ

巡回調査では発生は確認されませんでした。フェロモントラップ調査では、伊達市で誘殺数が平年より多い状況でした（図6）。ほ場をよく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください。

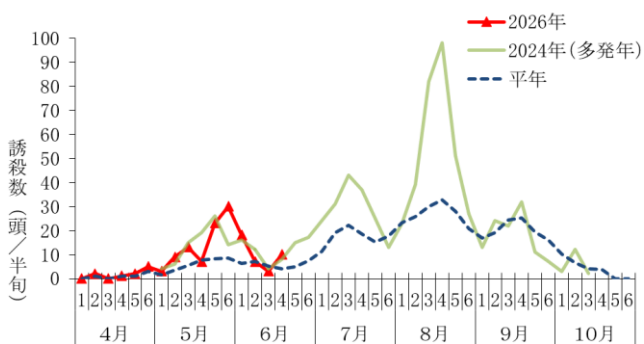


図6 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(伊達市保原町:キク)
※平年のうち4月のデータは2025年のみ



写真1 トマト果実を食害するオオタバコガ

【注意が必要な病害虫】

■トマトキバガ

夏秋栽培ほ場でトマトキバガ幼虫による果実等の被害が確認されています。ハウス内をよく見回り、本虫の発生や被害がないか十分に注意し、防除を徹底しましょう。また、被害残さはビニール袋等に入れて蒸し込みし、完全に死滅させてから処分してください。



写真1 トマトキバガ成虫



写真2 トマトキバガによる葉の食害痕



写真3 トマトキバガ幼虫（体長5～8mm）

■トマト黄化葉巻病（TYLCV）

トマト黄化葉巻病が発生しているほ場においては、コナジラミ類の防除を徹底してください。また、発病が疑われる株については、速やかに抜き取り処理を行ってください。

今後定植するほ場においては、苗からの持ち込みを防ぐため、育苗時からコナジラミ類の防除を徹底してください。購入苗の場合は、タバココナジラミの寄生の有無や葉の黄化などを確認し、健全な苗を選びましょう。

病害虫防除所HPでも情報を掲載しているため、下記のURLも参考にしてください。

【注意喚起～トマト黄化葉巻病（TYLCV）のまん延防止対策～】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/544337.pdf>

【トマト黄化葉巻病（TYLCV）対策 チラシ】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648953.pdf>

【トマト黄化葉巻病（TYLCV）対策 パンフレット】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648954.pdf>



写真4 タバコナジラミ成虫



写真5 タバコナジラミ老熟幼虫、蛹



写真6 TYLCVに感染したトマトの症状



写真7 タバコナジラミによる着色異常果

※夏秋トマトの巡回調査では、下記の 11 か所を巡回調査地点としております。

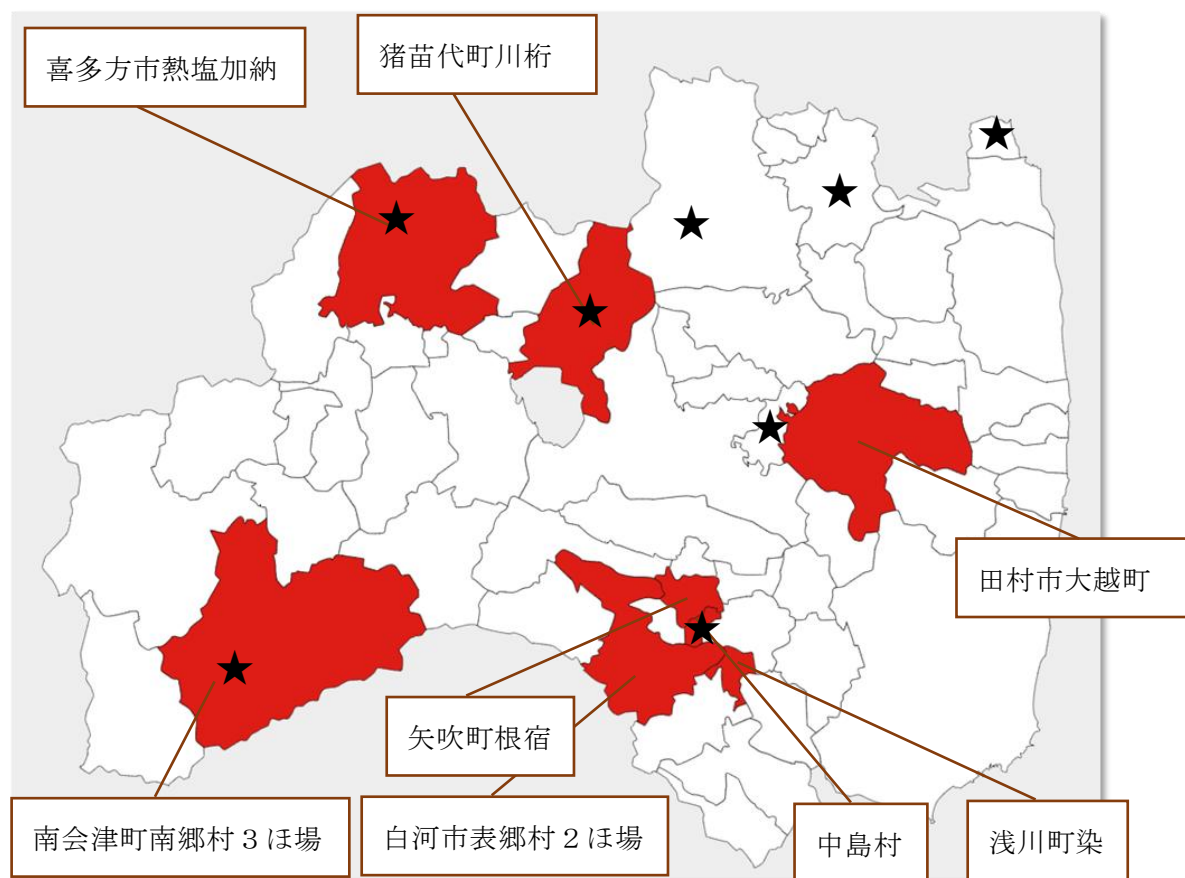


図 夏秋トマトの巡回調査地点

★ : オオタバコガフェロモントラップ設置箇所 (キクほ場含む)

■ 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709

Fax:024-958-1727

e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp